

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成21年4月30日(2009.4.30)

【公開番号】特開2008-182741(P2008-182741A)

【公開日】平成20年8月7日(2008.8.7)

【年通号数】公開・登録公報2008-031

【出願番号】特願2008-60962(P2008-60962)

【国際特許分類】

H 04 N 7/32 (2006.01)

【F I】

H 04 N 7/137 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年3月17日(2009.3.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

現在のピクチャの双予測ブロックのダイレクトモード動きベクトルの導出方法であって、

同一位置にあるブロックがlist 1動きベクトルのみを有する場合は、前記現在ピクチャの双予測ブロックのダイレクトモード動きベクトルを導出するための動きベクトルとして、第1レフランスピクチャの同一位置にあるブロックのlist 1動きベクトルを選択し、前記現在ピクチャと、前記第1レフランスピクチャの同一位置にあるブロックによつて参照される第2レフランスピクチャとの間の第1の時間間隔を求め、

前記第1レフランスピクチャと前記第2レフランスピクチャとの間の第2の時間間隔を求め、

前記第1及び第2の時間間隔に基づいて、前記第1レフランスピクチャの同一位置にあるブロックの前記list 1動きベクトルをスケーリングし、

前記同一位置にあるブロックのスケーリングされた前記動きベクトルに基づいて、前記双予測ブロックの前記ダイレクトモード動きベクトルのうちの少なくとも1つを求めることを特徴とするダイレクトモード動きベクトルの導出方法。

【請求項2】

ダイレクトモードのためのlist 1レフランスピクチャの同一位置のブロックが、list 1動きベクトルのみを有する場合には、

さらに、前記ダイレクトモード動きベクトルを求めるための動きベクトルとしてlist 1動きベクトルを用い、

前記list 1動きベクトルによって指示されたレフランスピクチャをダイレクトモードのためのlist 0レフランスピクチャと決定する、請求項1に記載のダイレクトモード動きベクトルの導出方法。

【請求項3】

ダイレクトモードのためのlist 1レフランスピクチャの同一位置のブロックが、list 1動きベクトルのみを有する場合には、

さらに、前記同一位置のブロックは動き0を有すると見なし、

時間的に前記双予測ピクチャの直前に位置するデコーディングされたピクチャをダイレクトモードのためのlist 0レフランスピクチャと決定する、請求項1に記載のダイレク

トモード動きベクトルの導出方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明のダイレクトモード動きベクトルの導出方法は、現在のピクチャの双予測ブロックのダイレクトモード動きベクトルの導出方法であって、同一位置にあるブロックがlist 1動きベクトルのみを有する場合は、現在ピクチャの双予測ブロックのダイレクトモード動きベクトルを導出するための動きベクトルとして、第1レフランスピクチャの同一位置にあるブロックのlist 1動きベクトルを選択し、現在ピクチャと、第1レフランスピクチャの同一位置にあるブロックによって参照される第2レフランスピクチャとの間の第1の時間間隔を求め、第1レフランスピクチャと第2レフランスピクチャとの間の第2の時間間隔を求め、第1及び第2の時間間隔に基づいて、第1レフランスピクチャの同一位置にあるブロックのlist 1動きベクトルをスケーリングし、同一位置にあるブロックのスケーリングされた動きベクトルに基づいて、双予測ブロックのダイレクトモード動きベクトルのうちの少なくとも1つを求める特徴とする。